

## 一律運賃の適用状況について

## 1 一律運賃の適用件数

平成27年10月から12月までの間における一律運賃の適用を受けた件数は、下表のとおり。

【表1】一律運賃の適用件数 (単位：件)

区 分	H27年10月	11月	12月	3か月平均
旧コミュニティバス	3,133	2,851	2,808	2,931
北播磨総合医療センター 一方向行きバス	2,842	2,883	2,804	2,843
上記以外の路線バス	6,939	7,109	6,939	6,995
計 (a)	12,914	12,843	12,551	12,769
うち三木～吉川線(b)	5,050	5,218	5,058	5,109
割合(%) (b/a)	39.1	40.6	40.3	40.0

## 2 バス運賃補助（正規運賃と一律運賃との差額分の補填）の状況

平成27年10月から12月までの間におけるバス運賃補助の状況は、下表のとおり。

【表2】バス運賃補助の状況 (単位：千円)

区 分	H27年 10月	11月	12月	3か月 平均	年間 見込額
旧コミュニティバス	333	314	228	292	3,504
北播磨総合医療センター 一方向行きバス	771	765	760	765	9,180
上記以外の路線バス	2,178	2,301	2,257	2,245	26,940
計 (a)	3,282	3,380	3,245	3,302	39,624
うち三木～吉川線(b)	2,217	2,308	2,260	2,262	27,144
割合(%) (b/a)	67.6	68.3	69.6	68.5	68.5

## 3 状況の分析

バス運賃補助全体の約7割を三木～吉川線が占めていることから、市内間移動として一律運賃制のメリットの享受が大きい遠距離地域間のバス利用が増加していると考えられる。